

PRIMERGY F250/P250 使用上の注意

このたびは、弊社の PRIMERGY（プライマジー） F250/P250 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本サーバをご使用になる上での注意事項がございますので、本書をよくお読みの上ご使用願います。

平成 14 年 12 月
富士通株式会社

1. BIOS セットアップユーティリティについての追記事項

（関連ページ F250 ハードウェアガイド P108～P109、
P250 ハードウェアガイド P102～P103 ）（追記・訂正）

BIOS セットアップユーティリティ内の以下の設定項目について以下の設定を追記・訂正致します。

1.1 設定項目の追加

・ [Advanced] メニュー

[Advanced System Configuration] - [Hot Spare Memort Feature] (追記): ☒ Disabled (設定変更禁止)
☐ Enabled

[Advanced System Configuration] - [CPU Clock Throttling Delay] (追記): ☒ None (設定変更禁止)
☐ 1min
☐ 5min
☐ 10min
☐ 20min
☐ 30min
☐ 60min

1.2 設定値の追加

・ [Server] メニュー

[Memory Status]

◎Enabled (工場出荷設定)

☐ Disabled (追加)

☐ Failed

2. BIOS セットアップユーティリティについての訂正事項

（関連ページ F250 ハードウェアガイド P108～P109、P250 ハードウェアガイド P102～P103 ）（訂正）

BIOS セットアップユーティリティ内の以下の設定項目順序について訂正致します。

- ・ [Advanced] メニュー配下の [Advanced System Configuration] の設定項目の順序が以下の通り変更になりました。機能及び工場出荷時の設定に変更はありません。

APIC:	[Enabled]
PCI Bus Parity Checking	[Enabled]
ECC Memory Checking	[Enabled]
Hot Spare Memory Feature	[Disabled]
Memory Clocks	[Unused on]
CPU Mismatch Detection	[Enabled]
CPU Clock Throttling Delay	[None]
CPU Timeout Counter	[Disabled]
CPU Frequency	[Auto]
Hyper-Threading	[Disabled]
USB Host Controller	[Enabled]
USB BIOS Legacy Support	[Disabled]
BIOS Work Space Location	[Top of Base Memory]

3. PXE 機能をご使用になる場合の注意事項

PXE 機能をご使用になる場合は、以下の手順で BIOS 設定を行ってください。

1. BIOS セットアップユーティリティで、以下のように設定します。
[Main]メニュー配下の[Boot Option]にある[MultiBoot for HDs]の設定を、[Disabled]から[Enabled]に変更します。
さらに、[Advanced]メニュー配下の[Peripheral Configuration]にある[LAN Remote Boot]の設定を、[Disabled]から[PXE]に変更します。
その後、[Exit]メニューで[Save Changes & Exit]を選択して、一度 BIOS セットアップユーティリティを終了します。
2. 必要に応じて、PXE によるブートの優先順位を変更します。
再び BIOS セットアップユーティリティを起動し、[Main]メニュー配下の[Boot Option]で、[Boot Sequence]の設定を変更します。[BootManage UNDI, PXE-2.0...]という項目が PXE によるブートをあらわしていますので、この項目にカーソルをあわせて、[+/-]キーで PXE のブートの優先順位を変更してください。

以上